

「89秒前の危機」を前にして

被爆80年を迎え、特別の思いで原水禁世界大会に参加しました。そして、全日本損害保険労働組合の慰霊祭にも参列し、昔一緒に運動した仲間たちと顔を合わせることが出来、感無量でした。

まさに世界大会の名にふさわしく世界各国の多彩な市民団体が参加し、核兵器使用の危機が迫る中、どう運動するか一真剣に討議され、大変格調の高いものとなりました。

1日目は「被爆体験の継承と被爆80年広島をつどい」、2日目は分科会やフォーラムなど、3日目に「ヒロシマデー集会」があり3日間とも参加しました。2日目の分科会、フォーラムⅡ「戦争も核兵器もない世界へ～議員と市民の国際連帯」に参加しました。

討論の中で共通して出されたのは、①「終末時計」の針は89秒前を指している。ロシアによるウクライナ侵略、イスラエルのガザ攻撃が続くアメリカによるイラン核施設攻撃など、人類は重大な危機に直面していると指摘されました。さらに、②



軍拡の問題で、トランプ米大統領の圧力でNATO諸国にGDP5%、日本に3.5%、アジア諸国にも5%の軍事費が強要されている。これらの膨大な軍事費は社会を破たんさせる。反対の運動を東西で闘うことが重要だと提起されました。③極右・排外主義の伸長がヨーロッパでアメリカで、そして日本でも起こっていて、この危険な動きにも協同して闘う必要があると強調されました。

大会では、従来に増してヨーロッパ各国からの代表が多く、世界における東と西の国々が核廃絶、戦争阻止、右傾化阻止で力を合わせて闘う意思が統一されたものとなりました。

石川県平和委員会
代表理事 山野健治

シールアンケートを実施

9月9日(火)、16時～西金沢駅周辺で行います。会員の参加を呼びかけます。

小松基地騒音測定に参加を

10月16日～22日(土・日はなし)、9時～17時、小松市民センター脇。F35A戦闘機の配備で攻撃基地に変貌した状況を学ぼう。

ニュース フラッシュ

- 6月11日 「怒りの昼デモ」は、猛暑のため四高公園脇での集会のみ。7月は参議院選挙のため中止
- 15日 石川県母親大会の分科会「PFAS問題」で、柴原和美事務局長が助言
- 16日 エムザ前で「沖縄連帯宣伝署名行動」
- 21日 「国民平和行進」広島まで歩



く長崎の被爆2世・尾崎さんと県内すべての自治体を訪ねて福井へ引き継ぎました

- 27日 能美市の学習会で柴原事務局長が話題提供
- 28日 犀川ロード九条の会総会で山野健治代表理事が講演。第7次小松基地爆音訴訟原告団総会
- 7月2日 なんぶアクションが夕方、平和町のショッピングセンター前で合同スタンディング
- 3日 参議院選挙が公示。「改憲NO! いしかわ市民連合」がエムザ前で街頭宣伝
- 9日 県原水協がエムザ前で恒例の「6・9署名行動」
- 20日 参院選の結果、自公政権が過半数を取れず。一方で国民民主や参政党が議席を伸ばす
- 24日 小松基地爆音訴訟の公判
- 8月1日 「ピースディ2025」が、県庁展



望ロビーで開催(15日まで)。写真は折り鶴を献納した児童たち

- 4日～9日 「原水爆禁止世界大会2025」が開幕。広島大会に山野代表理事が参加。長崎には民医連を中心に24人が出席
- 6日 新日本婦人の会が、近江町プラザ前で「核兵器は人類と共存出来ない!」とロングラン宣伝

“平和の仲間づくり”を進めよう!

会費は月/350円。平和新聞は毎月3回発行 470円。

月間の運動誌/300円です。

戦後・被爆80年 各地で「平和を考える」多彩な行事

7月25日から8月15日まで、県庁19階展望ロビーで様々な団体がパネルを展示して“平和とは…”を問いかけました(戦後・被爆80 平和を願うネットワークが主催)。

8月1日、「ピースディ2025」のオープニングセレモニーで、初めて安居知世県議会議長があいさつ。平和教育で西本多美子さんの被爆体験を聞いた森山小学校と犀川小学校の児童が折り鶴をささげました。そして、ノーベル平和賞授賞式のツアーに参加した大田健志さん(反核医師の会石川の事務局長で西本さんをサポート)は、オスロでの様々な出会いを画像でリアルに報告し、西本さんが一言コメントしました=写真。

会場には「原爆と人間展」、被爆者の話を聞いた広島



の高校生が描いた「絵画」、「一日本兵が撮った日中戦争」、「反戦川柳作家 鶴彬」などのパネルが展示されました。期間中、「悪魔飽食」の合唱と「731部隊 最新の研究成果にふれて」の講演会。「平和の絵手紙&ちぎり絵体験会」や「平和を考える集い—韓国からの強制労働」=

は豪雨で急遽中止、コーラス、被爆証言の朗読、映画「荒野に希望の灯をともし〜医師・中村哲の現地活動」など多彩なイベントが繰り広げられました。また、「平和都市宣言」の各自治体でも「原爆と人間展」を開催し、親子連れが訪れました。そして、平和委員会の会員も参加した「戦争展」も開かれました。